

卒業生のことば

少しずつ春の訪れを感じる今日のよき日に、私たち卒業生のために、このような盛大な卒業式を開いていただき、誠にありがとうございます。

私たちは平成の最後、令和という新しい時代の始まりの年に、この中央聴覚支援学校小学部に入学しました。しかし、私たちの小学校生活は、決して当たり前の日々ではありませんでした。1年生の3学期には、新型コロナウイルスで学校が休校になり、友だちと会えない日々が続きました。学校が始まってもマスクやフェイスシールドをつけたり友だちと距離をとったりと、戸惑いながらの学校生活でした。その中で「普通に過ごせることのすばらしさ」「仲間と過ごすことの喜び」を改めて感じることができました。

家族や先生、たくさんの方々が毎日、私たちを見守り、励まし、支えてくれたおかげで、今日、無事に卒業の日を迎えることができました。これまでの感謝の気持ちを胸に、これからも頑張っていきます。

運動会で力を合わせたこと、毎年みんなで劇を作り上げたこと、体調の悪い友だちをみんなで支え、励まし、ともにすごしてきたこと、修学旅行で友達と過ごした時間。これまで、この4人で作ってきた思い出の一つひとつはわたしたちの大切な宝物です。

今日、私たちはこの中央聴覚支援学校小学部を卒業し、新たな一步を踏み出します。

最後になりましたが、保護者の皆様、これまでお世話になった先生方、本当にありがとうございました。中央聴覚支援学校小学部で学んだことを胸に、それぞれの夢に向かって歩んでいきます。

令和7年3月14日

大阪府立中央聴覚支援学校小学部卒業生一同